

デマンド交通検討部会の報告

(1) 設置の目的

高齢者等の交通弱者の移動手段として、地域の特性に合わせたデマンド交通の導入を検討するため、地域公共交通協議会の下部組織としてデマンド交通検討部会を設置する。

(2) 検討部会名簿

所属	所属役職	氏名	備考
公立小松大学	教授	高山 純一	座長
能美市	副市長	番匠 啓介	
国土交通省北陸信越運輸局 石川運輸支局	企画調整担当 首席運輸企画専門官	打越 利子	
公共交通有識者		中辻 純一	
福島大学	准教授	吉田 樹	アドバイザー
日野自動車株式会社	CASE 事業企画部	対馬 圭介	オブザーバー
株式会社アイシン	ビジネスプロモーション部 乗合サービス企画室	杉山 仁	
能美市地域振興課	協議会事務局員		事務局
株式会社計画情報研究所	コンサルタント事業者		

(3) 検討部会の内容

7月14日 第1回	デマンド交通に対する共通イメージを形成し、導入の可能性について議論を行った。 (1) コミュニティバス「のみバス」の現状について (2) 事例紹介 ・日野自動車株式会社 ・株式会社アイシン
8月 3日 試乗・ 意見交換	のみバス試乗を実施し、導入について意見交換を行った。 ・循環ルート（根上地区） ・連携ルート（日中） ・循環ルート（辰口地区西部） ・さとやまルート
8月31日 第2回	デマンド交通のサービスの実現に向けて議論を行った。 (1) 運行方法の提案 (2) 他の交通モードとの棲み分けや連携について協議 (3) 能美市におけるデマンド交通導入の検討

<p>9月15日 第3回</p>	<p>【デマンド交通導入についての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の選択肢が多い地区がAIデマンドに適している。 ・デマンド運行は需要が集中する朝など混雑時に対応できない ・運行事業者として、地元のタクシー会社の協力が必要 <p>【バスルート見直しの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間に1便のパターンダイヤは維持していくべき。 ・連携ルートに任せられる区域を見直しルート変更を追求できる。
----------------------	---



<p>検討の結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現段階では、デマンド交通を入れるタイミングではない。 ・のみバスルートを見直して需要の掘り起こしを図る。 ・のみバスには、まだまだサービスレベル向上の可能性はある。
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 根上循環は、既存ルートを短縮した8の字型に見直し、パターンダイヤを維持できるルート設定を検討する。 ➤ 辰口西部・さとやまルートは、車両の小型化を検討し、パターンダイヤを維持できるルート設定を検討する。 ➤ AIデマンド交通の導入は、今回見送ることとし、経路変更等により利便性の向上を図る。 ➤ 和佐谷地区は、タクシー助成制度を実施し、将来的にデマンド交通の導入を検討する。 	